

# 今を未来に

## ○2学期の主な行事の総括（その2）

### 修学旅行

11月4日（木）から一泊二日で伊勢・志摩方面へ修学旅行にでかけました。本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、三重県内での修学旅行となりました。両日とも天候に恵まれ、全行程を予定どおり進めることができました。

今回の修学旅行では、次のような目的を大切にしながら、児童一人ひとりに役割を持たせながら、修学旅行の取り組みを進めてまいりました。

① 自分たちで調べる活動を通して、確かな知識を身につける。【まなぶ】【やってみる】

② 人権と職業、歴史的建造物について、豊富な資料や展示物などから考えを深める。

【じっくり】

③ 自分の行動に責任をもち、集団行動を通して、友だちと協力して生活することの大切さを学ぶ。【だいすき】【つながる】【すこやか】

また、出発式の時に、私から『今、何をすべきか、自ら考え適切に行動しよう。』という課題を全児童にだして、修学旅行の目標を達成できるように話をしました。

二日間を振り返ると、多くの児童が私のだした課題をすべての場所で意識しながら、修学旅行の目標を達成するために、仲間と協力しながら行動することができました。特に、鳥羽竜化石発見地で化石採掘実習時に、指導員さんの話をしっかりと聞き、仲間と協力しあって一生懸命に採掘している姿が印象的でした。また、一日目夜の鳥羽水族館飼育員さんの講演『アザラシやセイウチなどの飼育話』では、興味津々で目を輝かせながら聞いていました。講演後の質問では、多くの児童が積極的に挙手をして、たくさんの疑問を飼育員さんに投げかけていました。質問の内容がとてもよかったと、飼育員さんからもお褒めのことばをいただきました。その他、ホテルや見学先でのあいさつや、振る舞いが良いなど、いろいろなところで高い評価をいただきました。

ただ、最後の志摩スペイン村では、平日にもかかわらず予想以上に来園者が多く、アトラクションの待ち時間が長くなり、一部班単位で行動ができず、班員がバラバラになってしまう場面がありました。次の課題として、みんなで知恵をだしあい解決していこうと取り組んでいるところです。

このように、全児童の頑張りによって、けがや病気になる児童もなく、安全に修学旅行を終えることができ本当にうれしく思います。きっと、一人ひとりの児童にとって心に残る修学旅行になったと思います。

修学旅行に際して、持ち物の準備や健康調査、送迎等でたいへんお世話になりありがとうございました。

## かけあしタイム・持久走記録会ご参観ありがとうございました

30分休みに、11月2日（火）から実施してきた『かけあしタイム』が11月26日（金）に無事終了しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全クラスをA・Bの2グループに分けて、人数を減らすことで密にならないように配慮しながら実施しました。

また、体育科の授業で実施している持久走記録会においても多くの保護者の皆さんに、参観していただきありがとうございました。私も何度か参観しましたが、だれ一人としてふざけて走る児童はいませんでした。どの児童も、自分の体力や体調にあわせて、最後まで走り切る目標を持ってまじめに取り組んでいました。また、走ることが苦手な児童に対して、見学している児童から『がんばれ、もう少し』という掛け声や、拍手が聞こえ、この声援を受けて一生懸命に走る児童の頑張りがとても印象的でした。

しんどい時にかけられる温かい仲間の声援ほど、頑張るエネルギーになるものはありません。保々小学校が人権学習を大切にしてきた成果が、こんな場面でも見られたことにたいへんうれしく感じました。

## 家庭での自主自立を促す取り組みを

先日、ある県立高校の学校評議委員会に委員として出席をしました。その場で、ある委員さんから、『自分のことは自分でやる・わからないことは自分で聞く・何事も人任せにしない』このような力がないと『就労につけない(就労が継続できない)』という話がありました。実際に大学卒業生の3割、高校卒業生の5割、中学校卒業生の7割近くの新卒者が入社3年以内に転職または退職をしているという事実があります。(新卒者の七五三現象)

そこで、私の頭に浮かんだのが本校における登下校時の車での送迎の多さです。この前、下校のパトロールをしている時に、複数の児童を車に乗せる保護者の姿を見かけました。何か緊急を要する特段の理由があったのかもしれませんが、仮にそうでなければ……。

複数の児童がいなくなることで、集団の束が小さくなり、防犯上心配です。また、保護者が自動車事故を起こした場合の責任の所在等も心配です。そして、なにより自分のことは自分でやる自主自立を促す絶好の機会を奪ってしまうことにもなります。

学校生活では、自主自立を促す取り組みを重点的におこなっていますが、仮に家庭でその機会を奪ってしまったとすると、子供に自主自立の力がつかないばかりか、将来的に自立した大人になれない可能性も出てきます。『自分のことは自分でやる・わからないことは自分で聞く・何事も人任せにしない』この視点で、自分の子育てを改めて検証していただけるとありがたいです。

ちなみに、本校は上記の理由から、登下校時の送迎は特段の理由がない限りご遠慮していただいています。特段の事情が生じた場合は、担任までご連絡ください。

## 学校からのお願い

### (1) 来校時の車の駐車について

来校時の際に、給食室付近や給食車両専用門(西門の南側)、および西門付近に車を駐車された方がおみえになります。この付近は毎日、給食の食材、牛乳、パン、ごはん等を運ぶ車両が不定時に駐車して業務にあたる場所になっています。そのため、たいへんご無理を申しますが、今後、給食室付近や給食車両専用門(西門の南側)、および西門付近への車の駐車はご遠慮ください。

### (2) 農道走行時の注意について

先日、地域の方から保々中学校第2グラウンド南側の農道を、速度を上げて走行している保護者がいると苦情をいただきました。早退か学童のお迎えかわかりませんが、いずれにせよ交通事故になってはいけません。たとえ人がいなくても、法定速度を守って、安全運転で農道を走行していただくようお願いいたします。